



開 Open your mind, 成 Be part of the world!



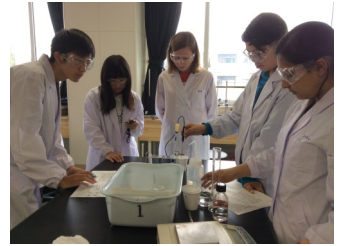
市立札幌開成中等教育学校 IB研究部 国際交流チーム Newsletter

ポートランド(USA)・シンガポール・ベトナムより留学生来校!

No. 4	
July 4, 2018	
7月の予定	
7/18 台湾留学セミナー @開成中等	校内×切 7/11
札幌市立高校生・ポ ートランド市グラント高校生 交流事業	校内×切 7/14 (申込)
東南アジア小論文 コンテスト	×切 9/14 (各自申込)
ベネッセ 海外留学センター 海外進学奨学金募集	×切 9/30 (各自申込)
第22回道産子高校生 ロサンゼルス ホームステイプログラム	×切 10/31 (各自申込)
札幌市高校生 海外留学支援補助 (随時)	最終校内 ×切 1/15まで



6月、本校へ3か国より21名の生徒が訪れました。ホームステイをしながらバディとともに登校し、通常の授業への参加や部活動での体験も含め、開成ジャパンを肌で感じて帰国しました。生徒は、可能な限りの交流をしましたか? ホームステイでお世話になった各家



理科の授業で実験中



シンガポールの3人、佐藤先生(家庭科)に着物を着せてもらいました

庭の皆様、どうもありがとうございました。以下、ポートランドのMariさんからのメッセージです。開成に来た喜びにあふれていて、こちらも嬉しくなってしまう!

In the spring of this year, (2018), I was able to host a student from Moiwa high school back at my home in Portland, OR. (U.S.A.) here in Sapporo, at the time, I didn't realize what a life changing experience it would be, but this experience of being part of an exchange has been unique and fulfilling. Kaisei, from the first time I walked into its doors has been overwhelmingly welcoming - getting to participate in lesson like 「家庭科」 and 「国語」, both of which we don't have in my school in America has been so fun. I've learned not just from the teachers at Kaisei and their subjects, but getting to observe little things like all the high schoolers with their beautifully made bento boxes and soji (cleaning) time. Watching how respectful and often on-task Japanese students an in comparison to Americans only makes we realize how much we can learn from other countries.



I'm here for a month in total, but even two weeks in as I write this, I've learned an insane amount about independence, language, and culture. (Thank you for having me, Sapporo!)
M・K- Grant High School-Portland

★「インドネシアへの派遣事業」最終選考結果

第10回中学生交流プログラムインドネシアへの派遣事業において、財団による面接の結果、3年AMさんが合格しました。AMさんは今後、出発前オリエンテーション等を経て、夏休み中に10日間現地へ派遣されます。爽りの多い研修期間となるよう、応援します!!

★語学等で海外の研修・留学を考えている方へ

夏季休業期間中、海外への留学許可願を提出することになっています。国際交流チーム：三角、藤本または担任の先生から所定の用紙を受け取り、早めの提出をお願いします。

夏季休業期間中、海外への留学する生徒は、短期でも

★平成30年度 市立高校生ポートランド派遣団募集のお知らせ(5年生対象)

「札幌市立高校生・ポートランド市グラント高校生交流事業」では、7校の市立高校より各校2名による派遣団を結成しポートランドの高校生と交流します。派遣期間は4年生の修学旅行期間中のため、**本年は5年生2名を募集します。**ホームステイ先からグラント高校に通学し、市内施設でボランティア活動にも参加します。

- 日 程：平成31年3月12日(月)～21日(水)
- 申込方法：申込書の受取りと提出は国際交流チーム森秀樹先生・ウォン先生まで
- 派遣経費：17万円程度(外貨なので変動あり)
- 校内選考：作文と面接(英語・日本語)、学校生活一般等
- 募集締切：7月14日(金)

【お問い合わせ】

市立開成中等教育学校
担当：黒宮(副校長)・森(秀樹)・ウォン
電話：788-6987

これから、海外で研修する生徒の声

「高校生・世界の架け橋養成事業(高校生パラオ派遣事業)」の選考に合格したK・Rさんが応募時に提出した作文を掲載します。これから留学を考えている皆さんにとってきっと参考になることがあるはずです。

ではまだ紛争や内紛が起きています。また、武力による争いは起きていなくても、北方領土など国同士で解決していない問題もたくさん残っています。この様な状況を減らしていくのが世界平和への第一歩となり、欠かせないのが国同士が協力し合うことです。お互いの考えや意見を完全に一致させることは、やはり自分の国の不利になるようにはしたくなかったり、国によって人に考え方も違ったりと難しいと思います。その中でもできるだけお互いが納得いく形を武力を使わずに見つけ出すことができれば良いのではないのでしょうか。その際に一番大切だと私が考えるのがお互いを思いやる気持ちです。最初にパラオは戦場になっていたと述べましたが、現在パラオは親日国です。その理由としてあげられるのが、日本軍がパラオの人たちを逃がして1人も死者が出なかったという事実があったからです。このように相手のことを考えて行動することができれば協力することができ、お互いの友好関係を築き上げられて、その輪が広がっていけば世界は平和へと近づいていくことができると考えます。最後に今まで述べてきた思いやる心を持って、国同士が協力し合い、平和を実現させるために今私達ができることについて私の意見と考えを述べようと思います。実際に話し合いをその国で行うのは日本のトップの人達ですが、国際協力は私達にもできます。まず、お互いを思いやる気持ちについてです。相手のことを考えるには相手について知らないといふはじまりません。他の国の文化や歴史を学び、実際に体験し、伝えていくこと、日本以外の国の出来事にも関心を持つことができるでしょう。さらに、協力という面では、戦争に巻き込まれてしまっている人々を少しでも助けるための物資支援や募金も私たちの身近なところでできることです。

私は国の偉い人だけにまかせるのではなく、1人1人が国際的な視野を持ち、仲良くなって協力することが世界平和へ欠かせないことだと考えます。

「国際協力と世界平和」 4年 K・R

今回の事業で訪問するパラオについて調べてみると、パラオでは第二次世界大戦中にペリリューの戦いが行われ、日本軍対アメリカ軍の戦場となっていたという事実があります。このように戦争が行われるのは平和ではなく、ましてや直接関係のない国を巻き込んでしまうことは絶対にあってはいけないことです。現在日本は、戦争放棄が憲法で定められていますが世界領土など国同士で解決していない問題もたくさん残っています。



ペリリュー島ではアジア太平洋戦争末期に激戦が行われた。「太平洋に浮かぶ美しい島々で、このような悲しい歴史があったことを、私どもは決して忘れてはならない」とは戦後70年、天皇陛下のメッセージです。

ニュージーランドに留学した理由

海外に行ってみたくと本気で考えはじめたのは、高校1年生の終わりのことです。進路に悩んでいた私は、学校主催のベトナム研修旅行に参加し、初めて聞く言葉や料理、その国の持つにおいや気候、見たことのない光景の数々など、驚きの連続でした。英語を使えば世界中の人と会話を楽しめるということに、喜びを感じました。この経験から、英語や海外での生活に憧れを抱くようになりました。「トビタテ！留学JAPAN」の奨学金に応募したのは、研修から帰ってきてすぐです。ニュージーランドを選んだ理由は、英語圏であり、コスト面や学習環境の良さ、国民性など、総合的に私にとって最適な国だと考えたからです。

現在海外で研修している生徒の声

今年1月から「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」アカデミックロングにてニュージーランドでの研修を続けているS・Yさんの留学体験記です。



留学生活について

ニュージーランドでの留学生活は、とても充実しています。最初は自分の意見を英語で伝えることができず、せつなく話題を振ってくれてもうまく話を広げられないなど、苦労しました。授業内容がわからない、早すぎてついていけないこともありました。そういう場合は、積極的にわからないところを先生や友達に質問したり、ホストファミリーに聞いて解決していきました。また、ニュージーランドの学校は校舎が教科ごとに分かれており、慣れるまでは教室移動がとても大変でした。しかし、3か月たった今では、友達やホストファミリーと楽しく会話できますし、教室移動も慣れました。また、ニュージーランドの高校にはさまざまな国の留學生がいます。留學生同士の交流の場も多く、今では10か国以上の友達ができました。彼らと自国について話し合うことは、とても刺激になります。

「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」

私がこのような貴重な体験ができたのは、「トビタテ！」の奨学金制度があったからです。留学にはたくさんのお金が必要です。トビタテ！は返済不要の奨学金なので、私の海外留学への憧れを実現させてくれました。また、応募の際に作成する中学計画書は、留学を成功させる手助けになります。海外に興味のある人は、ぜひトビタテ！応募してみてください。

ニュージーランド留学を経験して

個の留学を通して、私には夢ができました。大学で言語学や多くの国の文化を学びたいと考えており、仕事をしながらたくさんの国を渡り歩くのが私の夢です。

●この文は、「ニュージーランド留学ガイドブック2018」(恵文社)に掲載されました。興味のある方は国際交流チームに数冊あります。藤本まで



★お知らせ
3月アメリカ語学研修
(本校対象:3、4、5
年)について

夏休み前に近畿日本ツーリストから案内パンフレットを配布、夏休み明けに学校で説明会を実施する予定。

●各自で申込されたものも国際交流チームへご連絡ください。

★7/18 台湾留学セミナー

英語と中国語を同時に習得することが可能な台湾の大学への留学です。7月18日(水)、台湾留学サポートセンターによるセミナーを本校で開催します。本日配布した案内をご覧の上、セミナー参加希望者は、申し込み用紙を7/11(水)までに国際交流チームBOX(職員室前)へ提出。

★3月出発高校生対象ロサンゼルスホームステイ・プログラム募集

北海道在住の高校生を対象に、将来のリーダーを育成する目的で南加道産子会が道庁の協力を得て募集するものです。期間は3/24~4/1、海外線往復航空券進呈、米国内滞在費免除の特典あり。必要書類の小論文は2000文字以内でテーマは「アメリカで何をつかみとりたいか」。申し込み締め切りは10/31、詳細を次号に掲載しますが、南カリフォルニア道産子会HPもご覧ください。

★ベネッセ海外進学奨学金

来年度海外の大学へ進学を予定している高校生を対象に付与する奨学金。金額は200万円、100万円、50万円の3通りでそれぞれ定員1名。応募はベネッセ海外進学センターWEBサイトより各自申し込みください。